

【授業科目】 心理学 Psychology

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務 経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
加藤 美紀	1年次 後期	選 択	1	15	講 義			可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する フィードバック方法	<p>授業概要／心理学の基本的な知識や考え方を学び、自分自身を含めた人間の行動について学ぶ。各回の内容について、印象的に残った理論や疑問や教員が提示する例題などを授業で学んだ心理学の各理論や概念等を参考に小レポートとしてまとめたリアクションシートを提出してもらう。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／レポートについては、印象的な意見や多かった疑問、質問に、次回以降の授業内でフィードバックする。</p>							
授業の 位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー②「人間として自己の成長に努め、社会人として広い見識と確かな倫理観を持ち、臨床検査の対象となる人々に愛情豊かに共感をもって接することができる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	<p>①心理学の基礎と考え方を学び、人間理解の方法を知る。 ②心理学に関心を持ち、必要な情報収集ができる。 ③自分が感じたことや考えたことを表現し、学習した心理学的理論に基づいて論述することができる。</p>							
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	<p>事前学習：日々の生活や気になるニュース、人物について関心を持ち、情報収集するように努める（各60分）。 事後学習：授業で学んだ知識をもとに、関心を持った出来事やニュース、人物について疑問に思ったことを心理学的視点に立って考える（各60分）。 上記例は、1単位8回科目の場合で、予習+復習に必用な時間は、2時間／1回となる。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 心理学とは何か？～歴史的背景から脳科学まで</p> <p>第2回 自分とは何者か？～人格心理学</p> <p>第3回 発達心理学</p> <p>第4回 感覚・知覚・認知心理学</p> <p>第5回 人間関係の心理学</p> <p>第6回 社会の中の心理学</p> <p>第7回 心の病気と健康～臨床心理学</p> <p>第8回 全体のまとめ</p>						<p>全て加藤</p>	
評価方法 評価基準	<p>1. 各回の小レポート課題…40%</p> <p>2. 期末レポート課題…60%</p>							
教科書	なし。授業内で資料を配布する	参考書等	<p>・『心理学ビジュアル百科 基礎から研究の最前線まで』創元社 ・『ひと目でわかる心のしくみをはたらき図鑑』創元社</p>					
学生への メッセージ	<p>・心理学は、人間理解の一つのツールであり、対人援助職にとっては大切な学問です。自分という存在から広がる社会や日常生活全般を「心理学」という視点で見つめ直し、自己理解や人間理解を深めることで、視野が広がります。関心を持って取り組んで頂けると幸いです。</p> <p>・授業中は他者に迷惑となる行為（私語や飲食、携帯電話の使用など）は禁止します。</p>							